

## 診療情報を集めて行う臨床研究に関するお知らせとお願い

熊本機能病院 薬剤部では、「アミノ酸加糖電解質輸液の投与時間介入による<sup>バチルス</sup>Bacillus <sup>セレウス</sup>cereus血流感染リスク軽減効果の検証」の研究に取り組んでいます。

### 研究の概要

<sup>バチルス</sup> <sup>セレウス</sup> Bacillus cereusという菌は自然界に広く存在する菌です。この菌は色々な薬に耐性を持ちやすく、人間の血液の中に入ってしまうと治療を行うことが難しくなります。病院で治療を受けている人の中には、治療の過程で口からご飯を食べることが困難になることも少なくないですが、そのような場合には点滴として口以外から栄養を補充しなくてはなりません。点滴のお薬のうち、アミノ酸という人間の体に必要な栄養が含まれている点滴では、この<sup>バチルス</sup>Bacillusの仲間が活発に増殖し、しかも投与を行う時間が長くなればなるほど増殖の速度が加速することが分かっており、9 時間を超えるとかなり加速すると言われていています。点滴の時間をきちんと定め、守っていくことは<sup>バチルス</sup>Bacillusという菌による感染症予防のためには大切なことです。このため、当院では投与時間を 8 時間以内に定め、守ってもらうよう取り決めを行いました。

この研究では、アミノ酸の入った点滴を投与する時間に特に着目し、取り決めを行った前後で投与時間がどのように変化したのか、また時間が変化したことで<sup>バチルス</sup>Bacillusという菌が見つかる確率がどう変化したのかを調査します。調査した情報は、個人情報適切に処理したかたちで学会発表し、全国で活動する薬剤師と情報を共有します。

### 対象となる方

2022年5月1日～2024年4月30日までにアミノ酸の入った点滴の投与を受けたすべての入院患者さん

## 研究期間

臨床研究実施許可日 ～ 2024年11月2日（研究終了日）

## 利用を開始する予定日

研究実施許可日から1週間後

## 利用する診療情報

病原微生物の検出数、アミノ酸加電解質輸液使用量と投与日数、投与時間、氏名、患者ID、年齢、性別、診療科、免疫抑制状態の有無、転帰、手指消毒薬の使用量

研究機関の名称：社会医療法人 寿量会 熊本機能病院

研究責任者氏名：杉山 留美子

## 個人情報の取扱いについて

診療情報の利用に関しては、個人情報は全て匿名化されてから解析されますので個人情報が漏れることはありません。また研究結果は、学術雑誌や学会等での発表に使用させて頂くことはありますが、その際も個人の特特定が可能な情報はすべて削除いたします。

上記の研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき実施しております。この研究にあなたの診療情報が利用されることに同意できない場合は対象と致しませんので、お手数ですが下記のお問い合わせ先にご連絡ください。また、ご不明な点があるとき、または研究計画等に関する資料をお知りになりたい場合は他の対象者の個人情報や研究全体に支障となる事以外はお知らせすることができますので、ご連絡ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用

させていただくことに対して同意が得られたものとさせていただきます。また、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を被ることはありません。

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

社会医療法人寿量会 理事長 米満弘一郎

お問い合わせ先

熊本機能病院 薬剤部 薬剤師 下原 朋美

T E L : 096-345-8111(内線 3259)、F A X : 096-345-8188